

第8期 第6回足立区あらかわ市民会議

●開催日

平成25年2月25日(月)
午後2時から午後4時

●開催場所

足立区役所本庁舎南館4階 作業室

●出席者

10名(全構成員:14名)

●議題

- 1 開会
- 2 議事録確認委員の選出について
- 3 報告・情報提供
 - (1) 舟運利用促進シンポジウムについて(資料1)
 - (2) 第6回東京低地河川活用推進協議会について(資料2)
 - (3) 荒川の将来を考える協議会ホームページ(資料3)
 - (4) 「足立区本木・水辺の会」について(資料4)
 - (5) 「五反野ワンドの自然再生を考える会」について(資料5)
- (6) 荒川右岸新田緑地下流部整備工事、
荒川桜つつみ整備工事について
- (7) 来年度の市民会議の進め方(資料6)
- 4 その他



1. 開会

足立区)資料確認

2. 議事録確認委員の選出について

3. 報告・情報提供

(1) 舟運利用促進シンポジウムについて

(2) 第6回低地河川活用推進協議会について

荒 下) (1)と(2)を並行して説明。資料1、2説明。

委 員) 荒下より地元の消防署、町会、区等に対して船着場の情報提供をして欲しい。区の防災訓練の場所にするなど活用できれば良いと思う。

足立区) このことはこの会議で初めて知りました。

荒 下) 足立区の一部の職員の方は傍聴されていました。

議 長) 船着場はあるのに会議に出られない？

荒 下) 今回の協議会の括りが東京低地河川、江東内部河川等の下流部地区になっております。

荒 下) しかし、今のような(初めて聞きましたという)意見ができるということは、広報不足だと感じております。協議会のメンバーではない市区にも更に情報提供をしていきたい。

委 員) 新田の船着場の隣には、わくわく広場やワンドがあるので、船着場が自由使用となった際に、それらがどのように使われていくのか気になるので、情報はこまめに教えて欲しい。

(3) 荒川の将来を考える協議会ホームページ

荒 下) 資料3説明

(4) 「足立区本木・水辺の会」について

委 員) 資料4説明

委 員) こういうボランティア活動を行う人たちはどうやって集めればいいのですか。

足立区) 看板、或いは区のホームページなど

委 員) 足立区はこういうボランティア活動に関心のある人が少ない。

足立区) 自然保護団体自体が、多摩川に比べると少ない。

委 員) 活動する方をどうやって増やしていくか、区の方でも考えてもらえないか。

委 員) 実はいろんなところにあたっております。例えば、銀行、大学の学生課、など人集めをしている。足立区さんへのお願いとして、ゴミの清掃ではなく維持管理として、自然観察員の方などをお願いできないか。

委 員) 足立区にはもっとボランティアの意識を持つ方を増やすよう頑張ってもらいたい。

委 員) 新田わくわく広場では、イベントとして子供達対象に掃除の日として100名位集めてやっている。子供が来れば親も来る。まずは子供達から土手にはこんなことがある、ということを知って広めていければ。

委 員) 生涯学習センターや公民館などで月に1回でもそういう講座をやっているかといえばやっていない。

足立区) 行政だけではやりきれない。荒川ビジターセンターなどと共同してやっていきたい。

ビジターセンター) 是非そういう声を上げていただきたい。それを元に活動を展開していきたい。

(5) 「五反野ワンドの自然再生を考える会」について

委 員) 資料5説明

- 委員) 干潟に降りる道が降りられなくなっている。降りられるように整備してほしい。
- 荒下) 湿地帯になっている箇所が危ないので立入を禁止する貼紙をするようお願いされた。
- 委員) 橋のたもとの辺りまで、安全に遊べるよう、自然地として活用できるようにしてほしい。
- 足立区) ご協力できる方を集めるようにしていきたい。一度には行かないかもしれないけど進めていきたい。
- 委員) 杭とロープで囲われている箇所は、あれは立入禁止にするということなのか。
- 荒下) 元々自然地というのは、あまり人が入らないようにしようという考えがあった。多摩川にも⑧空間というのがあるがそれと同様の考え方。ただ、現在は荒下内部にはそういう考え方はもう無い。場所として残ってはいるが。

(6) 荒川右岸新田緑地下流部整備工事、荒川桜つづみ整備工事について

足立区) 説明

- ・荒川右岸新田緑地下流部整備工事：工期が変更になった。当初3月下旬までが、5月下旬までになった。その理由は、給水施設を設けることについて荒下との協議に時間がかかった。
- ・荒川桜つづみ整備工事：工期は当初の3月下旬で変更はない。ただ、雪が何回か降られた関係で工期が厳しい。ご理解いただきたい。

- 委員) (資料配布) ワンドなどゴミが滞留する箇所が多い。荒下にはお願いですが、水門の排水溝のところがゴミがものすごく溜まってしまう。網とかネットとか、入り込まないような簡単な施設を作れないでしょうか。
- 荒下) なかなか難しい。当初はいいが、穴があいてきたりで、メンテナンスに手間がかかる。検討させていただきたい。
- 委員) 黒メダカが絶滅寸前になっている。1回メダカ池をさらって戻したい。個人レベルではやっているが、出来ればイベントにして一度にどーんとやりたい。黒メダカを育ててくれる人を募集したい。

(7) 来年度の市民会議の進め方

足立区) 資料6 説明

- (1) 第8期委員、引き続き第9期委員に。
- (2) 第9期以降の議長を、東京大学工学系研究科、河川環境工学専門の知花先生に。
- (3) 開催時間を夕方～夜間の時間帯に戻す。